

Vol.12 No.1 '89

1989年10月20日 発行 目次

第20回日本消化吸収学会を終って	1
理事長 名尾良憲	
日本消化吸収学会第20回記念総会を終って	2
第20 回会長 日本大学 第3内科 松尾 裕	
学会誌の年2冊発行に当って	3
編集担当理事 奥田邦雄	
〈記念講演〉	
消化吸収と共に歩んで	7
日本大学 名誉教授 本田利男	
〈特別講演〉	
ビタミンKの吸収と機能をめぐる最近の進歩	33
東京女子医科大学 消化器内科 小幡 裕	
〈シンポジウム〉	
消化吸収、基礎的研究から臨床へ	49
滋賀医科大学 第2内科 細田四郎	
序論 消化吸収の形態学的基礎	53
九州大学 解剖学 山元寅男	
糖質消化吸収の調節—ラクターゼを中心に	56
静岡県立大学 食品栄養科学部 栄養生理学研究室 合田敏尚	
病的状態のラット小腸によるアミノ酸吸収	60
徳島大学医学部 病態栄養学 萩平 博 他	
アスパルテーム、その他の加水分解からみたオリゴペプチドの吸収	63
日本大学 生化学 中川滋木 他	
腸管内基質—低分子ペプチド— からみた刷子縁膜酵素活性と輸送抵体	67
滋賀医科大学 第2内科 馬場忠夫 他	
脂肪吸収と腸微小循環のdynamic analysis	74
慶應義塾大学 消化器内科 三浦総一郎 他	
腸疾患における消化吸収障害	80
大阪医科大学 第2内科 松本恒司 他	
消化器手術後の消化吸収障害	85
新潟大学 第1外科 畠山勝義 他	
あとがき	

第20回の記念講演として本田利男名誉教授により『消化吸収と共に歩んで』というタイトルで本学会の設立から今日までの歴史が話された。特に第1回の消化吸収談話会および第2回の研究会の開催にあたり故日野貞雄先生が本研究会の必要性について示された情熱についてのお話は胸にせまるものであった。小幡裕教授によるビタミンKの吸収と機能についての特別講演は広く体内機能と生理作用に及んだ。そして、消化、吸収のみでなく広く代謝まで含めた一連の研究としてこれらを切り離すことが出来ないことが示された。シンポジウムおよび一般演題において基礎と臨床に関する多岐にわたる発表がありテーマの広さは本学会の重要性を示唆している。本年より学会誌を年2回発行し原著論文を会員から募集することとなった。1昨年より日本学術会議にも登録され本学会の発展が益々期待されている。

(K, K)